主催：徳島大学環境防災研究センター、徳島大学人と地域共創センター

昭和南海地震から80年
教訓の継承と南海トラフ地震への備え

2026年12月19日（土）
13:30 ～ 16:30（開場 12:30）

徳島大学創成学習スタジオ
理工学部共通講義棟6F（徳島市南常三島町 2-1）

どなたでも参加いただけます
定員：先着 200 名

参加無料

1946 年の昭和南海地震から 80 年。被災を直接体験した方々が年々少なくなる中、その記憶と教訓をどう受け継ぎ、次の南海トラフ地震への備えにつなげていくかが問われています。本シンポジウムでは、80 年前の被災の実相を振り返るとともに、最新の被害想定や研究成果、地域での実践を共有します。当時を記録・研究してきた世代と、これから伝えていく世代が同じ壇上に立ち、「記憶」「科学」「実践」「継承」を一本の線でつなぎます。過去を学ぶだけにとどまらず、次の時代に向けた備えを踏み出す場としたいと考えています。

シンポジウム

司会（山中 亮一 徳島大学環境防災研究センター）
13：30　開会あいさつ（蒋 景彩 徳島大学環境防災研究センター長）
趣旨説明、センターの南海トラフ地震研究の紹介
＜昭和南海地震の教訓＞
13：40　「昭和南海地震の実相と教訓 」
松尾 裕治 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構客員教授
14：10　「昭和南海地震の体験談・報告」井若 和久 徳島大学人と地域共創センター 特任助教
＜次の南海トラフ地震の被害想定＞
14：30　「南海トラフ巨大地震の被害想定 」宮島 崇 徳島県危機管理部 防災対策推進課長
14：45　「南海トラフ巨大地震津波の最新研究 」馬場 俊孝 徳島大学大学院教授
15：00　休憩
＜教訓の継承と備え＞
15：10　「南海トラフに対する事前復興の実践」
坂本 茂雄 高知市下知地区減災連絡会事務局長
15：40　パネルディスカッション
『過去の災害から学び、次の災害に備える』
進行役　松重 摩耶 徳島大学環境防災研究センター助教
パネラー　坂本 茂雄 高知市下知地区減災連絡会事務局長
西部 大志 徳島大学大学院創成科学研究科 1 年
斎藤 大河 徳島大学理工学部 3 年
戎井 光来 大阪大学人間科学部 3 年
16：30　閉会のあいさつ（上月 康則 徳島大学環境防災研究センター副センター長）
17：00　情報・意見交流会　会場：カフェさんじょ＋（担当：湯浅 恭史 徳島大学環境防災研究センター）

昭和南海地震から80年 教訓の継承と南海トラフ地震への備え

情報・意見交流会

シンポジウム終了後に情報・意見交流会を開催いたします。皆様お誘いお合わせの上、ぜひご参加ください。

12月19日（土）**17:00 ～**

カフェさんじょ＋

徳島大学日亜イノベーションコモンズ 1F（徳島市南常三島町 2-1）

参加費：**4,000** 円（当日受付にて）

事前予約制：先着 **50** 名

シンポジウム、情報・意見交流会の参加申し込み

下記の Google フォーム URL または QR コードより、事前にお申し込みください。

申込URL：https://forms.gle/raRQ4rQjNQey9J6L6

Google フォームからの申込が難しい方は、下記のお問い合わせ先アドレスへ、氏名・所属名（またはお住まいの市町村名）・電話番号・参加希望の行事（シンポジウム、情報・意見交流会）ほか、必要事項を書いて送信してください。

申込 QR コード

申込締切：12月15日（火）正午

シンポジウムは当日参加も受け付けます。

※ 資料準備の都合上、なるべく事前申込にご協力ください。

◆ アクセス

JR 徳島駅から約 2 Km

徒歩 / 約 30 分、バス利用 / 約 20 分

〈お車でお越しの方へ〉

理工学部駐車場をご利用ください。

台数に限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。



◆ 問い合わせ先

徳島大学環境防災研究センター

〒770-8506 徳島市南常三島町 2-1

Tel. 088-656-8965

E-mail rcmode@tokushima-u.ac.jp